

# Num

## Chapter 23

Japanese Interlinear

Reference: Japanese Kougo-yaku (1954/1955)

מִזְבְּחַת ִשְׁבַּעַה בֵּינָה לִי בְנֵה-בָלֶק אֶל-בְּלָעַם וַיֹּאמֶר 1  
祭壇-を 七つ-の ここ-に 私-に 建てよ バラク ~に バラム-は そして-言った  
H4196 H7651 H2088 H1129 H1111 H0413 H0559

וַיִּבְנוּ אֵילִים וְשִׁבְעָה פָרִים שִׁבְעָה בֵּינָה לִי וַיִּבְנוּ  
雄羊-を そして-七頭-の 雄牛-を 七頭-の ここ-に 私-に そして-備えよ  
H7651 H6499 H7651 H2088

バラムはバラクに言った、「わたしのために、ここに七つの祭壇を築き、七頭の雄牛と七頭の雄羊とを整えなさい」。

וּבְלָעַם בָּלֶק וַיַּעַל בְּלָעַם דִּבֶּר כְּאֲשֶׁר בָּלֶק וַיַּעַשׂ 2  
バラム-は バラク-と そして-献げた バラム-が 語った ~の-通り-に バラク-は そして-行った  
H1111 H5927 H1696 H1111

בְּמִזְבְּחַת וְאֵיל פָּר  
祭壇-の-上-に そして-雄羊-を 雄牛-を  
H4196 H6499

バラクはバラムの言ったとおりにした。そしてバラクとバラムとは、その祭壇ごとに雄牛一頭と雄羊一頭とをささげた。

עֲלִיתָ עַל-הַתִּיבָבוֹ לְבָלֶק בְּלָעַם וַיֹּאמֶר 3  
あなた-の-焼き尽くす-献げ物 ~の-そば-に 立って-いよ バラク-に バラム-は そして-言った  
H3320 H1111 H0559

מִה-וּדְבַר לִקְרָאתִי יְהוָה יִקְרָה אוֹלִי וְאֶלְכָה 4  
何でも そして-言葉-を 私-に-会い-に 主-が 現れる-だろう もしかすると そして-私-は-行こう  
H4100 H1697 H7125 H3068 H0194 H3212

שָׁפִי נִיבָדָה לָךְ וַהֲפִירְתִּי יִרְאֵנִי  
裸-の-丘-へ そして-行った あなた-に そして-告げよう 示される-もの-を  
H8205 H3212 H5046 H7200

バラムはバラクに言った、「あなたは燔祭のかたわらに立っていてください。その間にわたしは行ってきます。主はたぶんわたしに会ってくださるでしょう。そして、主がわたしに示される事はなんでもあなたに告げましょう」。こうして彼は一つのはげ山に登った。

הַמִּזְבְּחַת שִׁבְעַת אֶת-אֱלֹוֹ וַיֹּאמֶר בְּלָעַם אֶל-אֱלֹהִים וַיִּקַּר 4  
祭壇-を 七つ-の (~を) 彼-に そして-言った バラム ~に 神-が そして-現れた  
H4196 H7651 H0853 H0413 H0559 H0413 H0430

בְּמִזְבְּחַת וְאֵיל פָּר וְאֶעֱלֶה עֲרֹכְתִי  
祭壇-の-上-に そして-雄羊-を 雄牛-を そして-献げた 私-は-整えた  
H4196 H6499 H5927

神がバラムに会われたので、バラムは神に言った、「わたしは七つの祭壇を設け、祭壇ごとに雄牛一頭と雄羊一頭とをささげました」。

בָּלַק אֶל- שׁוּב וַיֹּאמֶר בְּלָעַם בְּפִי דְבַר יְהוָה וַיִּשֶׂם 5  
 バラク ~の-もとへ 戻れ そして-言った バラム ~の-口-に 言葉-を 主-は そして-置いた  
[H1111](#) [H0413](#) [H7725](#) [H0559](#) [H6310](#) [H1697](#) [H3068](#)

וְכֵן תְּדַבֵּר: וְכֵן  
 語れ そして-この-ように  
[H1696](#) [H3541](#)

主はバラムの口に言葉を授けて言われた、「バラクのもとに帰ってこう言いなさい」。

עֲלֵתוּ עַל- נָצַב וְהִנֵּה אֵלָיו וַיִּשָּׁב 6  
 彼-の-焼き尽くす-献げ物 ~の-そば-に 立って-いた すると-見よ 彼-の-もと-に そして-戻った  
[H5324](#) [H2009](#) [H0413](#) [H7725](#)

מֹאָב: שָׂרֵי וְכָל- הוּא  
 モアブ-の 首長-たち そして-すべて-の 彼-は  
[H4124](#) [H8269](#) [H3605](#) [H1931](#)

彼がバラクのもとに帰ってみると、バラクはモアブのすべてのつかさたちと共に燔祭のかたわらに立っていた。

בָּלַק יִנְחֵנִי אָרַם מִן- וַיֹּאמֶר מְשָׁלוּ וַיִּשֶׂא 7  
 バラク-が-私-を 連れて-来た アラム ~から そして-言った 彼-の-たとえ-を そして-取り上げた  
[H1111](#) [H5148](#) [H0758](#) [H0559](#) [H4912](#) [H5375](#)

זַעֲמָה וְלָכָה יַעֲקֹב לִי אָרְחָה- לָכָה קָדָם מְתַרְרֵי- מֹאָב מֶלֶךְ- 8  
 憤れ そして-来て ヤコブ-を 私-に 呪え 来て 東方 東-の-山々-から モアブ-の 王-の  
[H2194](#) [H3212](#) [H3290](#) [H0779](#) [H3212](#) [H2042](#) [H4124](#) [H4428](#)

יִשְׂרָאֵל:  
 イスラエル-に  
[H3478](#)

バラムはこの託宣を述べた。「バラクはわたしをアラムから招き寄せ、モアブの王はわたしを東の山から招き寄せて言う、『きてわたしのためにヤコブをのろえ、きてイスラエルをのろえ』と。

לֹא אֲזַעֵם וְנָמָה אֵל קָבָה לֹא אֶקְבֹּ מָה 8  
 (~ない) 憤れよう-か そして-どうして 神-が 呪わない (~ない) 呪えよう-か どうして  
[H3808](#) [H2194](#) [H4100](#) [H0410](#) [H6895](#) [H3808](#) [H4100](#)

יְהוָה: זָעַם  
 主-が 怒らない  
[H3068](#) [H2194](#)

神ののろわない者を、わたしがどうしてのろえよう。主ののろわない者を、わたしがどうしてのろえよう。

לְבַדְּךָ עַם הָיָה אֲשׁוּרְנוּ וּמִגְבְּעוֹת אֲרָאֵנִי צְרִים מְרָאשׁ כִּי- 9  
 独り-で 民-は 見よ 私-は-眺める そして-丘-から 私-は-見る 岩々 岩-の-頂-から なぜなら  
[H0910](#) [H2005](#) [H7789](#) [H1389](#) [H7200](#) [H6697](#)

וְיִתְחַשְׁבּ: לֹא וּבְנוֹיָם יִשְׁכֹּן  
 数えられない (~ない) そして-諸国-の-中-に 住む  
[H2803](#) [H3808](#) [H7931](#)

岩の頂からながめ、丘の上から見たが、これはひとり離れて住む民、もろもろの国民のうちに並ぶものはない。

יִשְׂרָאֵל רְבַע אֶת- וּמִסְפָּר יַעֲקֹב עָפָר מְנָה מִי- 10  
 イスラエル-の 四分-の-一-を (~の) そして-数-を ヤコブ-の 塵-を 数えられよう-か 誰-が  
[H3478](#) [H7255](#) [H0853](#) [H4557](#) [H3290](#) [H6083](#) [H4487](#) [H4310](#)

כְּמִנְהוּ: אַחֲרֵיָי וְתָהִי יִשְׂרָיִם מוֹת נַפְשִׁי תָמוּת  
 彼-の-よう-に 私-の-末期-が そして-なれ 正しい-者-の 死-を 私-の-魂-は 死-にたい  
[H3644](#) [H0319](#) [H1961](#) [H3477](#) [H4194](#) [H5315](#) [H4191](#)

だれがヤコブの群衆を数え、イスラエルの無数の民を数え得よう。わたしは義人のように死に、わたしの終りは彼らの終りのようでありたい」。

וַיֹּאמֶר בָּלָק אֶל־בְּלָעַם מַה עָשִׂיתָ לִּי לְקַבֵּל אֹיְבֵי  
 11 私-の-敵-を 呪う-ため-に 私-に した-の-か 何-を バラム ~に バラク-は そして-言った  
[H0341](#) [H6895](#) [H4100](#) [H0413](#) [H1111](#) [H0559](#)

לְקַחְתָּיִךְ וְהִנֵּה בִּרְכָתְךָ בְּרַךְ:  
 祝福-を 祝福-した 見よ 連れて-きた-のに  
[H1288](#) [H1288](#) [H2009](#) [H3947](#)

そこでバラクはバラムに言った、「あなたはわたしに何をしますか。わたしは敵をのろうために、あなたを招いたのに、あなたはかえって敵を祝福するばかりです」。

וַיַּעַן וַיֹּאמֶר הֲלֹא אֵת אֲשֶׁר יָשִׂים יְהוָה בְּפִי  
 12 私-の-口-に 主-が 置かれる ~の-こと-を (~を) (~ではないか) 言った そして-答えて  
[H6310](#) [H3068](#) [H0853](#) [H3808](#) [H0559](#)

לְדַבֵּר אֲשֶׁמֶר אֲתוּ  
 語らなければ-ならない 守って それ-を  
[H1696](#) [H8104](#) [H0853](#)

バラムは答えた、「わたしは、主がわたしの口に授けられる事だけを語るように注意すべきではないでしょうか」。

וַיֹּאמֶר אֵלָיו בָּלָק אֶל־מְקוֹם אֲתִי נָא (לָדַךְ-) לָכֵה-  
 13 場所 ~へ 私-と-一緒-に どうか 来て-くれ 来て-くれ バラク-は 彼-に そして-言った  
[H4725](#) [H0413](#) [H0854](#) [H4994](#) [H3212](#) [H3212](#) [H1111](#) [H0413](#) [H0559](#)

אַחַר אֲשֶׁר תִּרְאֶנּוּ תִּרְאֶנּוּ מִשָּׁם אַפְסֵי קְצֵהוּ תִּרְאֶה לֹא  
 (~ない) 全体-は 見える-が その-端-だけ ただ そこ-から 見える-だろう そこ-から 別-の  
[H3808](#) [H3605](#) [H7200](#) [H8033](#) [H7200](#) [H0312](#)

תִּרְאֶה וְקִבְּנוּ־לִי מִשָּׁם:  
 見えない そして-呪え 私-の-ため-に そして-見えない  
[H7200](#) [H6895](#) [H8033](#)

バラクは彼に言った、「わたしと一緒にほかのところへ行って、そこから彼らをごらんください。あなたはただ彼らの一端を見るだけで、全体を見ることはできないでしょうが、そこからわたしのために彼らをのろってください」。

וַיִּקְחֵהוּ וַיַּקְהֵהוּ שָׂרָה צַפִּים אֶל־רֹאשׁ הַפְּסִגָּה וַיִּבֶן שִׁבְעָה  
 14 七つ-の  
[H7651](#) [H1129](#) [H6449](#) [H0413](#) [H6839](#) [H3947](#)

מִזְבְּחֹת וַיַּעַל פָּר וְאֵיל בְּמִזְבְּחָם:  
 祭壇-を 祭壇-を 雄牛-を 雄牛-を 雄羊-を 雄羊-を 雄牛-を 雄牛-を 雄羊-を 雄羊-を  
[H4196](#) [H6499](#) [H5927](#) [H4196](#)

そして彼はバラムを連れてゾピムの野に行き、ピスガの頂に登って、そこに七つの祭壇を築き、祭壇ごとに雄牛一頭と雄羊一頭とをささげた。

וַיֹּאמֶר אֶל־בָּלָק הֲתִיָּצֵב כֹּה עַל־עֲלִיתָךְ  
 15 私-は 祭壇-を 雄牛-を 雄牛-を 雄羊-を 雄羊-を 雄牛-を 雄牛-を 雄羊-を 雄羊-を  
[H0559](#) [H0413](#) [H1111](#) [H3320](#) [H3541](#)

וַאֲנִי וְאַקְרָה אַחֲרָיִךְ  
 そして-私-は 現れ-を-待とう 現れ-を-待とう  
[H0595](#) [H3541](#)

ときにはバラムはバラクに言った、「あなたはここで、燔祭のかたわらに立っていてください。わたしは向こうへ行って、主に伺いますから」。

שוב וַיֹּאמֶר בְּפִי דְבַר וַיִּשֶׂם בְּלִעָם אֵל-יְהוָה וַיִּקַּר 16  
 戻れ そして-言った 彼-の-口-に 言葉-を そして-置いた バラム ~に 主-が そして-現れた  
[H7725](#) [H0559](#) [H6310](#) [H1697](#) [H0413](#) [H3068](#)

וְכֵן וַיְבָרֵךְ אֵל-בָּרַק  
 語れ そして-この-ように バラク ~の-もと-へ  
[H1696](#) [H3541](#) [H1111](#) [H0413](#)

主はバラムに臨み、言葉を口に授けて言われた、「バラクのもとに帰ってこう言いなさい」。

עָלָיו עַל-נֹצֵב וְהִנֵּנוּ אֵלָיו וַיָּבֵא 17  
 彼-の-焼き尽くす-献げ物 ~の-そば-に 立って-いた すると-見よ 彼-の-もと-に そして-来た  
[H5324](#) [H2009](#) [H0413](#) [H0935](#)

דְּבַר מָה-בָּרַק לוֹ וַיֹּאמֶר אִתּוֹ מוֹאָב וַיִּשְׂרִי  
 語った-か 何-を バラク-は 彼-に そして-言った 彼-と-共-に モアブ-の そして-首長-たち  
[H1696](#) [H4100](#) [H1111](#) [H0559](#) [H0854](#) [H4124](#) [H8269](#)

יְהוָה:  
 主-は  
[H3068](#)

彼がバラクのところへ行って見ると、バラクは燔祭のかたわらに立ち、モアブのつかさたちも共にいた。バラクはバラムに言った、「主はなんと言われましたか」。

הֲאִזְנָה וַיִּשְׁמַע בָּרַק קוֹם וַיֹּאמֶר מְשָׁלוּ וַיִּשָּׂא 18  
 耳-を-傾けよ そして-聞け バラク-よ 立て そして-言った 彼-の-たとえ-を そして-取り上げた  
[H0238](#) [H8085](#) [H1111](#) [H0559](#) [H4912](#) [H5375](#)

צָפּוֹר בְּנוֹ עָרִי  
 ツィポル-の 息子-よ 私-に  
[H6834](#) [H5704](#)

そこでバラムはまたこの託宣を述べた。「バラクよ、立って聞け、チッポルの子よ、わたしに耳を傾けよ。」

הֲהוּא וַיִּתְנַחֵם אָדָם וּבֶן-יִכְזָב אֵל אִישׁ לֹא 19  
 彼-が 悔いる-もの-ではない 子-は また-人-の 偽る-もの-ではない 神 人-は (~ない)  
[H1931](#) [H5162](#) [H0120](#) [H3576](#) [H0410](#) [H0376](#) [H3808](#)

וְלֹא וְדַבַּר יַעֲשֶׂה וְלֹא אָמַר  
 (~ない) そして-語って 行わない-こと-が-あろう-か (~ない) 言って  
[H3808](#) [H1696](#) [H3808](#) [H0559](#)

יְקִימֵנָה:  
 成し遂げない-こと-が-あろう-か

神は人のように偽ることはなく、また人の子のように悔いることもない。言ったことで、行わないことがあろうか、語ったことで、しとげないことがあろうか。

אֲשִׁיבֶנָּה: וְלֹא וַיְבָרֵךְ לְקַחְתִּי בְרָךְ הִנֵּה 20  
 私-は-覆せない そして- (~ない) 彼-が-祝福-した 私-は-受けた 祝福-する-こと-を 見よ  
[H7725](#) [H3808](#) [H1288](#) [H3947](#) [H1288](#) [H2009](#)

祝福せよとの命をわたしはうけた、すでに神が祝福されたものを、わたしは変えることができない。

21  
 עָמַל רָאָה וְלֹא- בְּיַעֲקֹב אֲוֹן הַבַּיִט לֹא-  
 災い-を 見ない また- (~ない) ヤコブ-の-中-に 不義-を 見ない (~ない)  
[H5999](#) [H7200](#) [H3808](#) [H3290](#) [H0205](#) [H5027](#) [H3808](#)

וּתְרוּעַת מֶלֶךְ עָמוֹ אֱלֹהֵיוּ יְהוָה בְּיִשְׂרָאֵל  
 王-の そして-王-への-喜び-の-叫び-が 共-に-おられ その-神-は 主 イスラエル-の-中-に  
[H4428](#) [H8643](#) [H0430](#) [H3068](#) [H3478](#)

בו:  
 その-中-に-ある

だれもヤコブのうちに災のあるのを見ない、またイスラエルのうちに悩みのあるのを見ない。彼らの神、主が共にいまし、王をたたえる声その中に聞える。

22  
 לֹוּ רָאָם כְּתוֹעַפֶּת מִמִּצְרַיִם מוֹצִיאָם אֵל  
 力-が-ある 野牛 野牛-の-角-の-ような エジプト-から 導き出された 神-は  
[H7214](#) [H8443](#) [H4714](#) [H3318](#) [H0410](#)

神は彼らをエジプトから導き出された、彼らは野牛の角のようだ。

23  
 קָסָם וְלֹא- בְּיַעֲקֹב נִחַשׁ לֹא- כִי  
 占い-は また- (~ない) ヤコブ-に-効かず まじない-は (~ない) まことに  
[H7081](#) [H3808](#) [H3290](#) [H5173](#) [H3808](#)

מָה- וְלִיִּשְׂרָאֵל לִיַּעֲקֹב יֵאמַר כָּעַת בְּיִשְׂרָאֵל  
 何-を また-イスラエル-について ヤコブ-について 告げられる 時-が-来れば イスラエル-に-効かない  
[H4100](#) [H3478](#) [H3290](#) [H0559](#) [H6256](#) [H3478](#)

אֵל: פָּעַל  
 神-は-と 行った-か  
[H0410](#) [H6466](#)

ヤコブには魔術がなく、イスラエルには占いが無い。神がそのなすところを時に応じてヤコブに告げ、イスラエルに示されるからだ。

24  
 לֹא יִתְנַשֵּׂא וְכִאֲרִי יָקוּם כְּלִבְיָא עַם הָיוּ  
 (~ない) 身-を-起こす そして-獅子-の-ように 立ち上がり 雌獅子-の-ように 民-は 見よ  
[H3808](#) [H5375](#) [H2005](#)

יִשְׁתֶּה: חָלְלִים וְדָם- טָרַף יֹאכַל עַד- יִשְׁכַּב  
 飲む 倒された-者-の そして-血-を 獲物-を 食らう ~まで 伏さない  
[H8354](#) [H1818](#) [H2964](#) [H0398](#) [H5704](#) [H7901](#)

見よ、この民は雌じしのように立ち上がり、雄じしのように身を起す。これはその獲物を食らい、その殺した者の血を飲むまでは身を横たえない」。

25  
 גַּם- תִּקְבְּנוּ לֹא קָב גַּם- בְּלָעָם אֵל- בְּלָק וַיֹּאמֶר  
 また-決して 呪うな (~ない) 呪う 決して バラム ~に バラク-は そして-言った  
[H1571](#) [H3808](#) [H6895](#) [H1571](#) [H0413](#) [H1111](#) [H0559](#)

תִּבְרַכְנוּ: לֹא בִרְךָ  
 祝福-するな (~ない) 祝福-する  
[H1288](#) [H3808](#) [H1288](#)

バラクはバラムに言った、「あなたは彼らをのろうことも祝福することも、やめてください」。

אֵלַיךְ אָלְתָּי הֲלֹא בָלַק אֶל־ וַיֹּאמֶר בְּלָעָם וַיַּעַן 26  
 あなた-に 語った (~ではないか) バラク ~に そして-言った バラム-は そして-答えた  
[H0413](#) [H1696](#) [H3808](#) [H1111](#) [H0413](#) [H0559](#)

אֶעֱשֶׂה אֵתוּ יְהוָה יִדְבָר אֲשֶׁר־ כָּל לֵאמֹר  
 私-は-行う それ-を 主-が 語る ~の-こと-を すべて 言って  
[H0853](#) [H3068](#) [H1696](#) [H3605](#) [H0559](#)

バラムは答えてバラクに言った、「主の言われることは、なんでもしなければならぬと、わたしはあなたに告げませんでしたか」。

אֲחֵר מְקוֹם אֶל־ אֶקְחֶנּוּ נָא לְכֶה־ בְּלָעָם אֶל־ בָּלַק וַיֹּאמֶר 27  
 別-の 場所 ~へ 連れて-行こう どうか 来て-くれ バラム ~に バラク-は そして-言った  
[H0312](#) [H4725](#) [H0413](#) [H3947](#) [H4994](#) [H3212](#) [H0413](#) [H1111](#) [H0559](#)

לִי וְקִבְּתוּ הָאֱלֹהִים בְּעֵינַי יִשְׂרָאֵל אוּלַי  
 私-の-ため-に そして-呪える-だろう 神 ~の-目-に 良い-と-思われる-なら もしかすると  
[H6895](#) [H0430](#) [H3474](#) [H0194](#)

מִשָּׁם  
 そこ-から  
[H8033](#)

バラクはバラムに言った、「どうぞ、おいでください。わたしはあなたをほかの所へお連れしましょう。神はあなたがそこからわたしのために彼らをのろうことを許されるかもしれません」。

עַל־ הַנִּשְׁקָף הַפְּעוֹר רֹאשׁ בְּלָעָם אֶת־ בָּלַק וַיִּקַּח 28  
 ~の-上-に 見下ろす ペオル-の 頂-へ バラム-を (~を) バラク-は そして-連れて-行った  
[H8259](#) [H6465](#) [H0853](#) [H1111](#) [H3947](#)

בְּנֵי הַנְּשִׁימוֹן  
 荒野 面-の  
[H3452](#) [H6440](#)

そしてバラクはバラムを連れて、荒野を見おろすペオルの頂に行った。

מִזְבְּחֹת שִׁבְעָה בֹּזֵה לִי בְנֵה־ בָּלַק אֶל־ בְּלָעָם וַיֹּאמֶר 29  
 祭壇-を 七つ-の ここ-に 私-に 建てよ バラク ~に バラム-は そして-言った  
[H4196](#) [H7651](#) [H2088](#) [H1129](#) [H1111](#) [H0413](#) [H0559](#)

אֵילִים וְשִׁבְעָה פָּרִים שִׁבְעָה בֹּזֵה לִי וְהִכֵּן  
 雄羊-を そして-七頭-の 雄牛-を 七頭-の ここ-に 私-に そして-備えよ  
[H7651](#) [H6499](#) [H7651](#) [H2088](#)

バラムはバラクに言った、「わたしのためにここに七つの祭壇を築き、雄牛七頭と、雄羊七頭とを整えなさい」。

פָּר וַיַּעַל בְּלָעָם אָמַר כַּאֲשֶׁר בָּלַק וַיַּעַשׂ 30  
 雄牛-を そして-献げた バラム-が 言った ~の-通り-に バラク-は そして-行った  
[H6499](#) [H5927](#) [H0559](#) [H1111](#)

בְּמִזְבְּחֹת  
 祭壇-の-上-に  
[H4196](#)

バラクはバラムの言ったとおりにし、その祭壇ごとに雄牛一頭と雄羊一頭とをささげた。